

# 中国が普通の大国になる日

柯 隆(ケ・ロング)

2011年中国はGDPで日本を抜き世界第二位の経済大国となった(十年間で5, 5倍) 国有企業幹部の給与は平均サラリーマンの128倍、世界銀行統計で米国は5%の人が60%の富を独占、中国は1%の人口で41, 4%の富を独占している。

国民所得では中国の上位0, 4%(500万人)で70%を占めている、嘗ての日本では昭和初期に1%の人で20%を占めていたが、今では10%に過ぎない。

{ 日本は中国と、どう付き合うべきか }

中国に設立されている日本企業は2, 5万社(2012年6月)1980年初めには中国人にとってのステータスシンボルはメイドインジャパンのラジカセ・洗濯機・冷蔵庫・腕時計。

「中国の失われた10年」

チェック機能が働かないことが最大の欠点、胡錦濤・温家宝政権の十年間「政治改革」が全く進まず、江沢民時代より格段に厳しい言論・報道の自由規制・司法の独立性も認められていない。

「国進民退(国栄えて民滅ぶ)の現実」

徐々に経営規模縮小の予定だった国有企業を黙認した、江沢民時代には国有企業民営化の動きが広まったが、胡錦濤時代には電気・石油・鉄鋼など国有企業の独占が加速、更によりやく育ってきた優秀な民間企業が非効率な国営企業にドンドン買収された。

「遅々として進まない金融改革」

国有四メガバンクが預金全体の5割以上を集め寡占状態にある、株式上場しているが30%程度であり買収される心配がない、2012年7月時点で貸出金利6%、預金金利3%、利ザヤ3%という、あり得ない高さ、国有企業には審査もせず貸出、金融自由化には耐えられない国有企業の融資実態。

「正常に機能していない株式市場」

- ① 公有企業が多く情報開示は極めていい加減
- ② 株価操作が当たり前
- ③ 政府による市場への干渉がひどい

中国政府にとって金融は巨大な利権の場

## 「社会主義という名の机上の空論」

毛沢東が農民にとって良かれと考えて起こした革命が「中国共産党」が円の中心となり利権を独占、農民の立場は変化なし、鄧小平の時代に修正を試みたが政治的に社会主義体制を変更できなかった、今もって封建社会の状態。

## 「残された道は民主化」

内側からと外側から迫る危機、共産党員でなければ権力の座につけない、中国でトップを担う可能な家系は10家程度、権力のたらいまわしと醜い闘争の繰り返し、中心に入れない優秀な人材が沢山、暴動を制御しにくい情報化の時代、習近平が政治改革を進める姿勢を見せ・変えなければ早晚政権は維持できない。

## 「中国指導層のカリスマ性弱体化」

長老たちが話し合いで決めてきた次期指導者、一党支配の政治で必要なのは強烈なカリスマ性がなければ政権維持不可、圧倒的な力で周囲を抑えられる力は習近平には大いに疑問。

## 「人心を纏めるイデオロギーの崩壊」

一党支配の政治を維持していく上で大切な要素が二つある

- ① 強烈なカリスマ性
- ② イデオロギー、つまり理念

毛沢東も鄧小平も国民に事あるごとに説教し、理念を説いていた、鄧小平は「改革こそ唯一の理屈である」「働けば報いられる」と演説し、人々は心を打たれた。

## 「地に落ちつつある共産党の権威」

江沢民は「3つの代表」という考え方で、資本家も共産党の仲間であるとの考え方を示したが、国民の大多数の心を打つ言葉ではなかった。

胡錦濤のスローガン「和諧社会」要は社会の格差をなくすこと、これは全く人々の心を打たなかった。

2012年3月全国人民代表大会の記者会見の場で温家宝首相は「政治改革しなければこの国は発展しないだろう」「民主主義は人類の普遍的な価値だ」と繰り返し叫んでいた。

## 「内陸部に住んでいる少数民族の不満の原因は政治腐敗」

55の少数民族(1民族当たり数千人～数万人)と94%の漢民族、文化として残っているのはモンゴル族・チベット族・ウイグル族・朝鮮族の4つ位。

少数民族への補助金の分配も本当に必要としている貧困層に行き届かないことに対する怒りが爆発している。

### 「安い労働力は中国だけでなくなった」

中国は労働力を生かして輸出を振興し外貨を稼ぐ戦略もネクスト11「イラン・インドネシア・エジプト・韓国・トルコ・ナイゼリア・パキスタン・バングラデシュ・フィリピン・ベトナム・メキシコ」等安い労働力で輸出を積極的に行い、自国の経済発展に繋げているため、中国の持つ「豊富な労働力」の必要性が減少、低賃金では我慢しなくなった労働者と、25%引き上げられた人民元が重いコスト負担としてボディーブローのように中国经济の成長を妨げる要因と化しつつある。

### 「恐ろしいスピードの高齢化加速と男女比アンバランスが大きな問題に」

2015年以降、人口はマイナスに転じる、一人っ子政策で20歳以下の人口は男性が女性を3千万人以上、上回っている。(国連人口統計)

100年前にも農家が働き手を欲し、女の子が生まれてくると殺してしまい、男性人口がどんどん膨らみ、最終的に戦争・農民一揆を引き起こしている。

清朝時代に広東省で起きた太平天国の乱も結婚相手が見つからない農村生活者の一揆というのが本当の姿だった。

### 「富の蓄積泣なき高齢化社会の到来」

一人当たりGDPが3万ドル超まで成長すると社会的に富が蓄積されるが、2011年時点でまだ5千ドルに満たず、本格的な高齢化に突入するまでに1万ドルがせいぜいだから、経済は相当危ない状態に追い込まれる。

GDPに比例する一国の教育水準は一人当たり1,5万ドル~2万ドル位までになれば、労働者の専門教育が可能、5千ドルまでは中卒程度がやっとなし、労働生産性を上げる為には労働者の教育レベルアップが必要となる。